



日本共産党
藤岡市議会議員

中澤秀平

藤岡市立石 574-1
TEL:090-4743-8956
FAX: 027-020-282

活動ニュース

2020.6.30 Vol.15

藤岡市の新型コロナ対応について (6月11日本会議質疑)

●プレミアム付商品券に課題あり

新型コロナウイルス感染症の影響で打撃を受けている地元経済活性化のための策のひとつとして、市は「プレミアム付き商品券」を発行します。10,000円で13,000円分の商品券を27,610セット販売する予定です。

例年は10%のプレミアムですが今回は30%となるので、多くの市民に嬉しい施策だと思えます。改善のために、いくつかの問題点を指摘しました。

●半数近くは大型店で使われている

これまで販売されているプレミアム付商品券の使われ方をみると、スーパーを中心とした「大型店」で半数近くが使われています。「地域経済活性化」を目的としながら市外の資本に多くのお金が流れて行ってしまうのが実態です。市は対策として、大型店で使用できる券の割合を例年よりも少なくするとしていますが、それでも4割程度は大型店でも使われることになりそうです。

プレミアム付商品券の使われ方 (商工観光課の資料をもとに中澤作成)

実施年度 利用店\	2015	2016	2017	2018	2019
一般店	51.92%	52.06%	54.06%	53.35%	56.68%
大型店	48.08%	47.94%	45.94%	46.65%	43.32%

↑参加店全体の1割程度の大型店で半数ちかくが使われている

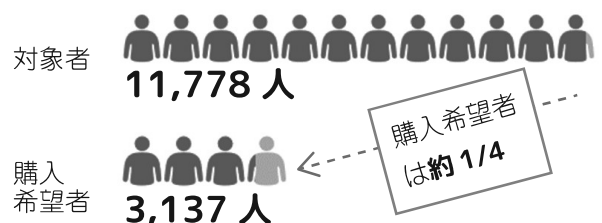
●生活が苦しいひとへの支援にはならない

元手がなければそもそも商品券を買うことができません。

昨年の消費税増税対策として低所得者向けに商品券を販売したときは、対象者の約4分の3の方が購入を希望していません。

日々使う現金を、使い勝手の悪い商品券にわざわざ手間をかけて交換することには抵抗があるのではないのでしょうか。

2019年度プレミアム付商品券購入希望者
(低所得者分)



十分な検査体制と補償の確立を要望 (6月19日一般質問)

●検査数は不明

この間、藤岡管内でのPCR検査数は約150件程度ですが、市内での正確な数字はわかりません。実際には藤岡市民の間でどのくらい感染が広がっているのか不明です。まず検査数を広く把握し、感染のリスクと不安を解消するために検査体制の拡充こそ必要です。希望者全員が検査を受けられるようにすることが理想です。

特に子どもやお年寄り、障害者の福祉施設では、「3密」を防ぐことはほぼ不可能です。職員や利用者の安全のためにも、優先して検査を徹底するべきです。

●ひきつづき、十分な補償制度を

経済的な補償も感染拡大防止対策として重要です。子育て世帯に対する「食事券」の配布、20%減収となった事業者に対する10万円の支援金制度など、市独自の支援策も始まりましたが、影響が大きく広がる中で、多くの市民の生活支援につながるさらなる施策が必要です。

国会では自治体に対する国の交付金が増額される予算が可決されています。藤岡市にもさらに4億円ほどが交付される見込です。

全国ではこの交付金を活用して、水道料金の減額に踏み切る自治体が増えています。藤岡市の隣の埼玉県でも20近い自治体で減額を実施しています。「自粛」ムードの中、自宅で過ごす時間が長くなったことで水道使用量も増加傾向です。生きる上で欠かすことのできない水を保障することは、市民の大きな安心につながります。

藤岡市でも交付金を活用して水道料金の減額を行うべきと求めました。

HP・SNS・メール
はこちらから↓



WEB SITE

NAKAZAWA
SHUHEI.NET



Facebook

中澤秀平



Twitter

中澤秀平@
nakazawashuhei

E-mail

shuhei430@outlook.jp

カンパのご協力、ありがとうございました！

●カンパ総額は73,000円

先日お願いをした「コロナアンケート」のカンパは、多くの方から73,000円を寄せて頂きました。おかげさまでアンケート5000枚を追加で配布し、全部で1万3000枚を市内に配ることができました。ご協力ありがとうございました。